

サプライヤーの被災リスクに備えよう！

～ サプライヤーにおけるBCM取組の自走化を推進するポイント～

大地震、水害、新型コロナウイルス等、広域にわたる災害が発生する度にサプライチェーンの強靱化の必要性が語られています。



大企業の皆さまは、サプライチェーンの途絶を回避するために、在庫を積み増しや調達先の複数化等の対策を、また、サプライチェーン途絶した際に臨機応変に対応するために、サプライチェーンの「見える化」の推進や、サプライヤーから素早く情報を収集する仕組みの構築等、様々な対策を着々と進めているかと存じます。

一方、サプライチェーンを構成する各サプライヤーのBCMのレベル向上も、サプライチェーンの強靱化にとって必要不可欠ですが、これら支援にはサプライヤー数が多い事や、支援に時間がかかる等の理由から十分に取組めていないと認識しています。

本WEBセミナーでは、この各サプライヤーのBCMのレベル向上の支援のポイントについて、キーワードを各サプライヤーの「自走化」と整理したうえで整理・解説をします。

配信期間	3月4日（月）9時～3月8日（金）17時		ご視聴無料
配信 コンテンツ (約60分)	(1) サプライヤーにおけるBCM取組の実態	サプライチェーンを構成する中堅・中小企業のBCM取組の実態を明らかにし、 サプライヤーのBCM取組の支援の必要性 について整理します。	
	(2) サプライヤーにおけるBCMレベル向上のポイント～自走化～	サプライヤーの数が多く、支援に時間がかかる実態を踏まえ、サプライヤーのBCM取組支援の方向性を整理します。 キーワードは「自走化」～	
	(3) サプライヤーのBCM取組の自走化を推進するポイント	サプライヤーにおけるBCM取組の「自走化」のポイントを、長期間にわたる取組になる実態を踏まえ、整理をします。 キーワードは「自分事BCP」と「育成の習慣化」～	
	(4) 自走化支援ツールのご紹介	今般、MS&ADインターリスク総研で開発した BCM取組の自走化を支援するシステム「レジリード」とその活用方法 をご紹介します。	
講師	MS&ADインターリスク総研（株） リスクマネジメント第四部長 政策研究大学院大学特別講師 山口 修	（略歴）2009年からリスクマネジメントに従事。専門領域は防災・BCM。2021年より現職。2020年より政策研究大学院大学特別講師。企業等向けコンサルティング実績、企業等向けセミナー出講実績多数【内閣官房主催シンポジウム（2016年、2018年）、中小企業庁主催シンポジウム（2019年）等】。	

※本セミナー動画は、1月30日（火）に開催した「オープンセミナー」>「サプライヤーの被災リスクに備えよう～サプライヤーにおけるBCM取組の自走化を支援するポイント～」を録画したものです。

視聴 申込 方法	<ul style="list-style-type: none"> 下記URLまたは右記二次元バーコードよりお申込ください。 お申込み後、メールにて視聴URLを記載した「お申込み受付完了のお知らせ」をお送りします。 <p>(申込み受付期間：～3月1日（金）17時まで) URL: https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/24380</p>	 <p>お申し込みはこちら</p>
お問合せ 先	<p>MS&ADインターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第四部 事業継続マネジメント第一グループ 矢野・副島 TEL(グループ宛) : 03-5296-8918 E-mail : interrisk_bcm@ms-ad-hd.com リスクマネジメント第四部 事業継続マネジメント第二グループ 関根・加藤 TEL(グループ宛) : 03-5296-8958 E-mail : interrisk_bcm2@ms-ad-hd.com</p>	 <p>「レジリード」についてはこちら</p>